

園芸療法勉強会 報告

登録者数：5施設20名（2009年10月現在）
事務局：大阪河崎リハビリテーション大学
幹事：大阪河崎リハビリテーション大学
珠数美穂（代表）、小林まき子
水間病院作業療法士
石川 大（代表）、西野 淳、
須古星浩一、廣田正博、
希望ヶ丘作業療法士
須古星昌子、岡村圭祐、溝口仁一郎

1. 園芸療法勉強会の概要

2008年8月、大阪河崎リハビリテーション大学および関連施設で園芸療法に取り組んでいる教員・作業療法士9名が、園芸療法に関する知識・技術を共有し、実践の場に活かすために園芸療法勉強会を立ち上げた。

その後、他の教職員や学生の参加の機会を設けるため、「勉強会メンバー」への登録を大学および関連施設に呼びかけ、登録者の要望に沿った勉強会を開催している。

2. 開催された勉強会の概要

1) 報告会「カナダ園芸療法研修」

報告者：佐竹 勝教授

日時：2008年9月25日 16:30～17:30

参加者：22名

内容：2008年8月27日～9月2日に学生と共に訪れたカナダの園芸療法視察について報告。園芸療法の先進国における取り組みを知り、文化的背景との関連および当大学で応用が出来る内容について考察した。

2) 園芸クラフト研究「プリザーブドフラワー」

日時：2008年12月25日

参加者：6名

内容：栽培した花をプリザーブドフラワーに加工し、アレンジメントを行う。作業工程とリスクを検討し、認知症高齢者のアクティビティとして活用するための工夫について話し合った。

3) 論文輪読会①

論文名：「精神疾患患者における園芸を用いた作業療法の心理的効用」 館内由江ら 医療58巻、

p.211～215

日時：2009年1月26日 17:30～19:00

参加者：10名

内容：精神疾患への園芸療法の取り組みを知ることと、自らの活動に応用できるかどうかを検討した。

4) 論文輪読会②

論文名：「脳活性化訓練利用者と非利用者の認知機能低下に関する研究」 児玉直樹ら 老年精神医学雑誌16巻、p.587

日時：2009年3月16日 17:30～19:00

参加者：8名

内容：長期間にわたる作業療法活動の結果、認知機能への効果が現れることを確認し、長期的な研究の必要性を理解した。

5) 論文輪読会③

論文名：「園芸療法が施設高齢者の精神面、認知面および免疫機能に与える効果」 杉原式穂ら 老年精神医学雑誌17巻、p.967～975

日時：2009年5月25日 17:30～19:00

参加者：9名

内容：園芸療法および認知症の研究で使用されている様々な研究方法について理解を深め、先行研究における知見を共有した。

6) 園芸療法実践施設見学会

訪問施設：「適寿リハビリテーション病院」

兵庫県神戸市

日時：2009年9月18日 13:00～15:30

参加者：7名

内容：先進的に園芸療法に取り組んでいる病院を訪れ、背景や理念について説明を聞いた。また、回復期リハビリテーションとして園芸療法に取り組む様子を見学した。

3. 今後について

勉強会を継続していくとともに、大学と実践施設による共同研究の場として発展させ、園芸療法の教育、研究、実践を一体として行っていきたい。

